



習（インターネット・電子メールの活用・情報モラルの習得など）が、充実されます。

● 小学校でも『総合的な学習の時間』や各教科などの学習で、『コンピュータ』に慣れ親しむ活動が充実されます。



コンピューターを活用した授業（緑陽中学校）

体育・健康教育が充実されます

● 生涯にわたって運動に親しみ、基礎的な体力を高めることが重視され、心の健康や望ましい食習慣の形成、生活習慣病の予防、薬物乱用の予防などに適切に対応できるようにあります。

● 新たに小学3年生から保健に関する内容を指導します（これまでは5年生から）。

特色ある学校づくりの推進

各学校の創意工夫で柔軟な時間割を組むことができます

特定の時期に集中して授業を行うことができます（例：コンピュータの授業を第1学期に集中して行うことなど）。

実験を行う理科の授業は75分授業を行ったり、日々の習熟の必要な英語は25分授業を毎日行うなど、各校により工夫した授業が行われます。



職業体験学習（鷲別中学校）

『総合的な学習の時間』が新設されます

『総合的な学習の時間』は、これまでと大きく画一的といわれてきた学校の授業を変えて、地域や学校、子

どもたちの実態に応じ、学校が創意工夫を生かして特色ある教育活動が行える時間です。国際理解や情報、環境、福祉・健康など従来の教科をまたがるような課題に関する学習を行うことができます。

また、知識を教え込む授業ではなく、自ら学び、自ら考える力を育成します。そのため、学び方や調べ方を身に付けることをねらいとした授業が展開されます。

・ 小学校の3年生以上から週当たり3時間程度、中学校では週当たり2時間から4時間程度が実践されます。

・ 総合的な学習の時間の内容は、各学校で決めます（従来の教科のように教科書はありません）。

・ 自ら課題を設けて行う学習や将来の生き方を考える学習、体験的な学習、問題解決的な学習が積極的に行われます（自然体験やボランティア活動などさまざまな体験活動が行われます）。

・ グループ学習や異年齢集団による学習、地域の人びとの参加による学習や地域の自然や施設を積極的に生かした学習などの多様な学習が行われます（小学校で国際理解・英会話の学習もできるようにあります）。

・ 学校の時間割における『総合的な学習の時間』の名称も各学校で決めます。



体験学習で市民にインタビュー（登別温泉中学校）



自然体験学習で野鳥を観察（青葉小学校）